

作成日 2021年 8月 31日

改訂日 2022年 6月 3日

## 安全データシート (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ビバ・ジェルエット
会社名	株式会社 東京技研
住 所	東京都世田谷区玉堤 1-25-13
電話番号	03-3703-5581
FAX 番号	03-3705-1760
緊急連絡電話番号	03-3703-5581
推奨用途	口腔ケア用湿潤ジェル
使用上の制限	他の用途に使用しないこと
整理番号	TGYA1-07A-21001A

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない または分類できない
----------	-----------------------

健康に対する有害性	区分に該当しない または分類できない
-----------	-----------------------

環境に対する有害性	区分に該当しない または分類できない
-----------	-----------------------

## GHSラベル要素

絵表示	なし
-----	----

注意喚起語	なし
-------	----

危険有害性情報	なし
---------	----

## 注意書き

## [安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
必要に応じて適切な保護具を着用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
環境への放出を避けること。

[応急措置] 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移り、呼吸しやすい姿勢で休息すること。  
 皮膚に付着した場合：水で洗い流すこと。  
 眼に入った場合：直ちに流水で15分間以上注意深く洗い流すこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 異常を感じた場合は速やかに医師の診断を受けること。  
 飲み込んだ場合：直ちに口をすすぐこと。無理に吐かないこと。  
 速やかに医師の診断を受けること。  
 気分が悪いとき：医師の診断を受けること。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受けること。  
 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。  
 漏出物を回収すること。

[保管] 容器を密閉すること。  
 冷暗所に保管すること。

[廃棄] 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性  
 情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要  
 情報なし

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物  
 組成及び成分情報

化学名又は一般名	濃度 [wt%]	CAS 番号	化審法番号	安衛法番号
グリセリン	10~20	56-81-5	2-242	非該当
増粘剤	3~10	非公開	非公開	非該当
pH 調整剤	0.2~1	非公開	非公開	非該当
防腐剤	0.2~1	非公開	非公開	非該当
水	70~86	7732-18-5	非該当	非該当

### 4. 応急措置

吸入した場合 新鮮な空気の場所に移り、呼吸しやすい姿勢で休息すること。  
 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。  
 皮膚に付着した場合 水で洗い流すこと。

眼に入った場合	皮膚刺激や痛みのある場合は、医師の診断を受けること。 直ちに流水で15分以上注意深く洗い流すこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
飲み込んだ場合	異常を感じた場合は、速やかに医師の診断を受けること 直ちに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 速やかに医師の診断を受けること。

**5. 火災時の措置**

消火剤	水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素 周辺火災に応じた消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	特になし
特有の危険有害性	特になし
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火すること。 周囲の設備等に散水して冷却すること。 消火活動は風上から行うこと。 危険でなければ、火災区域から容器を移動すること。
消火を行う者の特別な 保護具及び予防措置	消火作業の際は適切な自給式呼吸器、眼や皮膚を保護する 耐熱性防護服を着用する。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には必ず保護具（手袋、マスク、眼鏡等）を着用すること。 関係者以外の立入りを禁止すること。 密閉された場所に立入る前には換気すること。 床に漏出すると滑り易いので注意すること。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	河川等に排出されて、環境へ影響を起ささないように注意する。 危険でなければ漏れを止めること。 土砂等の不活性材料に吸収させて、密閉容器に回収すること。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い	
技術的対策	必要に応じて保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避けること。
安全取扱注意事項	用途以外には使用しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	強酸化剤
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
技術的対策	保管場所には必要な照明を設けること。
混触禁止物質	強酸化剤

安全な保管条件	高温、高湿の場所を避け、冷暗所に密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	硬質塩化ビニル、ポリエチレン、ポリプロピレン等

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない。
ACGIH	グリセリン TLV-TWA 10 mg/m <sup>3</sup>
設備対策	取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸器用の保護具	通常の作業時には特に必要なし。
手の保護具	必要に応じて保護手袋を着用する。
眼の保護具	必要に応じて保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣を着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粘稠液体
色	無色
臭い	無臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	約 6.3 (25°C)
粘度	約 30000mPa·s (20°C)
動粘性率	情報なし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	約 1.06 (25°C)
相対ガス密度	非該当
粒子特性	非該当

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常の条件では安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤とは反応する。

避けるべき条件	高温、直射日光、高湿度
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	特になし

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	ATEmix>2000mg/kg より、区分に該当しない。
急性毒性（経皮）	既知成分が区分に該当しないことより、区分に該当しない。
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	既知成分が区分に該当しないことより、区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	既知成分が区分に該当しないことより、区分に該当しない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	既知成分が区分に該当しないことより、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

水性環境有害性 短期（急性）	既知成分が区分に該当しないことより、区分に該当しない。
水性環境有害性 長期（慢性）	既知成分が区分に該当しないことより、区分に該当しない。
残留性・分解性	良好と判断される。
生体蓄積性	蓄積性がない、または低いと判断される。
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	分類できない モントリオール議定書の附属書に列記されていない。 (規制対象物質（オゾン層破壊物質）を含まない。)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を得た専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理をすること。
汚染容器及び包装	使用済容器は、残留物の有無を確かめた上で、各自治体の指定する方法で処理をすること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号、国連分類	
国連番号	非該当

品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
副次危険性	非該当
容器等級	非該当

国際規制

陸上輸送	非該当
海上規制	非該当
航空規制	非該当

国内規制

陸上規制	非該当
海上規制	非該当
航空規制	非該当

緊急時応急措置指針番号

非該当

特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。  
 容器の転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 直射日光下での輸送は避ける。

15. 適用法令

労働安全衛生法

表示対象物質 非該当

通知対象物質 非該当

化学物質管理促進法（化管法） 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

化審法 一般化学物質

消防法 非該当

船舶安全法 非該当

海洋汚染防止法 施行令別表第1 有害物質 Z類物質 グリセリン

港則法 非該当

航空法 非該当

水質汚濁防止法 非該当

オゾン層保護法 非該当

外国為替及び外国貿易法（外為法） キャッチオール規制（輸出貿易管理令別表第1の第16項）

16. その他の情報

引用文献

JIS Z 7252 : 2019 GHSに基づく化学品の分類方法  
 JIS Z 7253 : 2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の

伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート  
GHS分類結果一覧（2021.5）  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）  
GHS混合物分類判定システム（Ver 6.0） 経済産業省  
GHS対応モデルSDS 職場のあんぜんサイト 厚生労働省  
許容濃度等の勧告（2021） 日本産業衛生学会  
TLVs and BEIs（2022） ACGIH

この安全データシートは、現時点で入手できた資料や情報等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意をして下さい。

記載内容は情報提供であり、保証するものではありません。

使用者の責任において適正に取扱って下さい。

記載内容は、新しい知見等により改訂されることがあります。

注意事項等は本用途における通常の見取りを対象としたものです。

他用途には使用しないで下さい。